

◎メインシナリオの設定について

◎○○○様の家計におかれましては、今後のライフプランにおける変数(不確定要素)が複数ございますため、各々の変数につき、以下のようにメインシナリオを設定させていただいております。

(1)ご長男様、ご長女様の進路について

⇒ ご指定いただいた進路パターンのうち

1. 「小学校(公立)→中学校(公立)→高校(公立)→大学(国公立)」
をメインシナリオとしております。

他の進路パターンの

2. 「小学校(公立)→中学校(公立)→高校(私立)→大学(私立)」

3. 「小学校(公立)→中学校(公立)→高校(国公立)→専門学校」

4. 「小学校(公立)→中学校(公立)→高校(国公立)→大学(私立)
→在学時留学(英語圏・期間半年or1年)

5. 「小学校(公立)→中学校(私立)→高校(国公立)→大学(私立)
→在学時留学(英語圏・期間半年or1年)

についてもシミュレーションを行っております。

(2)ご購入予定の住宅の物件価格について

⇒ 「1. 物件価格4,000万円」をメインシナリオとしております。

ただし、ご希望いただいたとおり「無理なく買える(=無理なく住宅ローンを返済できる)物件価格」を探るために、以下の他の価格でもシミュレーションを行っております。

・「2. 物件価格3,000万円」の場合

・「3. 物件価格5,000万円」の場合

・「4. 先日ご検討された物件「○○○○○(物件価格5,900万円)」の場合

なお、必要であれば、奥様のご就業停止年齢(今回は、「奥様53歳まで」とご指定いただいております)も変数に加えることが可能です。

上記の(1)の5パターン×(2)の4パターン=20パターンの結果を、別途マトリックス表にまとめております。

また、各々の変数設定の詳細につきましては次葉以降、それぞれの項目の該当箇所にて詳しくご説明させていただいております。

◎シミュレーションの前提条件②

(お子さまの教育費関係②)

・お子さまのおけいこ事、習い事については、お書きいただいたうち、ご長男様、ご長女様とも

①水泳教室(2018年4月開始～小学校ご卒業まで)

②英会話(ご長男様、ご長女様とも、小学校1年生～6年生の6年間に、それぞれ通われるものとしています。

具体的には、

①の水泳教室は、現在の〇〇〇様のご自宅から比較的近く、徒歩あるいは自転車でも通うことが可能と思われる「〇〇〇〇・キッズ(〇〇スポーツ運営)〇〇店」に通われるものとし、同店の「園児～小学生クラス」の会費をそのまま用いております。料金(税込)は以下のようにしております。

(1)初期費用(入会時のみ)お一人:16,524円

⇒入会金:5,400円、事務手数料:3,240円、水着:3,132円、

帽子(シリコン):1,296円、クラブバッグ:2,160円、

スイミングブック:1,080円、進級テスト用カードケース:216円

の合計:16,524円×2名(ご長男様、ご長女様)=33,048円

(2)月会費:7,020円(年間:84,240円)

②の英会話教室は、現在の〇〇〇様のご自宅から比較的近い「〇〇〇 KIDS(〇〇〇・キッズ)〇〇本校」に通われるものとしております。

同店の料金(税込)は以下のようにしております。

<(小1～小2)小学校 低学年クラス・日本人教師の場合を想定>

(1)小1時初期費用(入会時のみ)お一人:34,644円

⇒入会金:10,800円、教材費(1年分):23,544円、クラブチャット:300円

(2)小1・小2時毎月の授業料:9,504円(月謝:8,640円+システム管理費:864円)⇒年間の授業料は114,048円になります。

<(小3～小4)小学校 中学年クラス・外国人教師の場合を想定>

(1)小3時初期費用(入会時のみ)お一人:34,644円

⇒入会金:10,800円、教材費(1年分):23,544円、クラブチャット:300円

(2)小3・小4時毎月の授業料:11,232円(月謝:10,368円+システム管理費:864円)⇒年間の授業料は134,784円になります。

◎診断コメント①

<全般コメント>

〇〇〇〇様のご家計におかれましては、

①進路パターン. 1であれば、住宅購入に伴う妥当な物件価格は「4,500万円～5,000万円(上限)」になるものと思われます。(その他の進路パターンについては、マトリックス表ご参照ください)

今回、あらゆる収入・支出項目を抽出し、可能な限りの将来予測を細部に渡り行い、シミュレーションいたしました。結果の詳細はキャッシュフロー表およびマトリックス表に記しておりますが、ここではまず、今後のライフプランについてのポイントをご説明いたします。

(ポイント1)現在の支出(基本生活費)について

・ご連絡いただいた現在の、毎月の基本生活費22万円前後という額は、お子さまお2人を勘案しても、何ら問題はなく、非常によく抑えられているといえます。ただし、お子さまがまだ小さいため、将来に向けて、お子さまの成長に合わせて支出額が拡大していくことは必定であるため、極力、支出額削減に努めていただけますと幸いです。

なお、基本生活費及び支出につきましては、今回本当に計上漏れがないかだけ今一度ご確認をお願いいたします。

基本生活費は永続的なものであるため、わずかな額の修正でも、キャッシュフロー表に与える影響が大きいからです。例えば、基本生活費に3万円の計上漏れがあった場合、物価上昇率を2%と想定しますと、20年間では約800万円(≒792万円)のマイナスの影響を及ぼします。

(ポイント2)住宅ご購入計画について

・住宅のご購入計画については、当シミュレーションのメインプランである「進路パターン. 1で、物件価格4,000万円(借入額:3,600万円)の場合」は、家計収支上は大きな問題はございません。ご主人様ご定年後は、かなり余裕が生じるものと思われます。

お子さまの進路に応じた妥当な物件価格につきましては、添付のマトリックス表をご参照ください。なお、住宅ローンの実際の適用金利は、現在の金利ではなく、融資実行時の金利となりますことご注意ください。(ただし、来年度の住宅ご購入であれば、現水準から大きく変動する可能性は低いと思われます)